

Ryukoku University



演劇プロジェクト「法と演劇」

特別企画 『ヴォイツェク』

このプロジェクトは従来「法と文学」というジャンルの一部としか見なされていなかった「法と演劇」を、新しいジャンルとして探求・確立することを目的としています。「刑法と精神医学の関係」に焦点を当てた、ゲオルク・ビューヒナーの戯曲『ヴォイツェク』を研究者たちが実演します。上演後、演出家、俳優、法理学者等が公開討論を行います。学生、教職員、一般参加者、たくさんのご来場をお待ちしています。

演出 あごうさとし（THEATRE E9 KYOTO芸術監督）仲正昌樹（金沢大学・教授）、中野涼子（金沢大学・教授）、上森さくら（金沢大学・准教授）、タイモン・スクリーチ（国際日本文化研究センター・教授）西村英希（近畿大学・講師）、シルヴァン・カルドネル（龍谷大学・教授）、清家竜介（龍谷大学・准教授）、中田裕子（龍谷大学・准教授）。

日付・場所

2025年3月15日（土） 14:30～17:00

入場無料 （開場14時00分）

龍谷大学深草キャンパス・成就館

Ryukoku Main Theater

https://www.ryukoku.ac.jp/about/campus_traffic/fukakusa.html

問い合わせ先：農学部 中田裕子

nakatayuko@agr.ryukoku.ac.jp